

AED（自動体外式除細動器）

1) AED（Automated External Defibrillator）とは：



AED(自動体外式除細動器)とは電気ショックが必要な心臓の状態を判断できる心臓電気ショックの器械です。

突然死の死因のほとんどは心臓疾患です。

それを心臓突然死といい、その大部分は心室細動という病気です。心室細動になると心臓がけいれんし、ポンプとしての役割が果たせず、助かるチャンスは1分経過するごとに約10%づつ失われ、10分後にはほとんどの人が死に至ります。この心室細動を正常な状態に戻す唯一の方法は除細動（心臓への電気ショック）です。そこで、早期の除細動ができるAEDの使用が必要となり、素早い除細動は社会復帰の鍵にもなります。AEDを自宅、学校、職場、たくさんの方が集まる公共の施設など様々な場所に置き、AEDを使うことで、突然死を防ぐことができます。

AEDは除細動が必要かを判断し、救命の手順を音声にて指示します。

AEDは除細動を含めた救命行為が簡単にできるように作ら

平成21年2月現在

2) 設置施設

設置名称	設置数	地区	設置名称	設置数	地区
1 宮古島市 平良庁舎	1	平良	26 宮古島リハビリ温泉病院	1	平良
2 // 城辺庁舎	1	城辺	27 うむやすみやあす・ん診療所	1	平良
3 // 下地庁舎	1	下地	28 池村内科医院	1	平良
4 // 上野庁舎	1	上野	29 下地診療所	2	下地
5 // 伊良部総合庁舎	1	伊良部	30 はら皮膚科	1	下地
6 // 中央公民館	1	平良	31 羽地歯科口腔外科	1	平良
7 // 総合体育館	1	平良	32 消防署	1	平良
8 トライアスロン事務局	1	平良	33 上野出張所	2	上野
9 宮古島地方气象台	1	平良	34 伊良部出張所	1	伊良部
10 宮古財務出張所	1	平良	35 シルバーケア悠々	1	下地
11 宮古警察署	1	平良	36 宮古島東急リゾートホテル	2	下地
12 下地島空港管理事務所	1	伊良部	37 アパラギゴルフコース	1	上野
13 宮古島中文化ホール（マニダ古民劇場）	1	平良	38 ホテルアトールエメラルド宮古島	1	平良
14 宮古島市平良保健センター	1	平良	39 空丸リゾートコースト・ゴルフリンク	1	下地
15 // 下地保健福祉センター	1	下地			
16 // 社会福祉協議会城辺支所	1	城辺	40 シギラベイ・カントリークラブ	1	上野
17 マリンターミナル	1	平良			
18 多良間村役場	1	多良間	41 ユニマット宮古島リゾート	6	上野
19 多良間村社会福祉協議会 友きのみ	1	多良間	42 スポーツアカデミー宮古島	1	平良
43 友利空手道場	1	平良			
20 多良間村空港	1	多良間	44 琉球銀行宮古支店	1	平良
21 多良間村中央公民館	1	多良間	45 シネマパニック宮古島	1	平良
22 県立宮古病院	1	平良	46 みやこ学園	1	平良
23 くらはし整形外科	1	平良	47 みやこ学園分場アダナス	1	平良
24 国立南静園	2	平良	48 (有)ブルースペース	1	平良
25 砂川内科医院	1	平良	49 宮古空港ターミナル(株)	1	平良
			50 下地島空港施設(株)	1	平良
			51 ろうきん宮古支店	1	平良
設置施設数：51施設			設置数：63個		

公立小学校・中学校・高等学校

小学校				中学校			
1	平良第一	1	平良	24	平良	1	平良
2	北	1	平良	25	北	1	平良
3	南	1	平良	26	久松	1	平良
4	東	1	平良	27	鏡原	1	平良
5	久松	1	平良	28	西辺	1	平良
6	鏡原	1	平良	29	狩俣	1	平良
7	宮原	1	平良	30	池間	1	平良
8	西辺	1	平良	31	大神（休校中）	1	平良
9	狩俣	1	平良	32	西城	1	城辺
10	宮島	1	平良	33	城辺	1	城辺
11	池間	1	平良	34	福嶺	1	城辺
12	大神（休校中）	1	平良	35	砂川	1	城辺
13	西城	1	城辺	36	下地	1	下地
14	城辺	1	城辺	37	来間	1	下地
15	福嶺	1	城辺	38	上野	1	上野
16	砂川	1	城辺	39	佐良浜	1	伊良部
17	下地	1	下地	40	伊良部	1	伊良部
18	来間	1	下地	41	多良間	1	多良間
19	上野	1	上野	高等学校			
20	佐良浜	1	伊良部	42	宮古高等学校	2	平良
21	伊良部	1	伊良部	43	宮古工業高校	1	平良
22	多良間	1	多良間	44	宮古総合実業高等学校	1	平良
保育所							
23	多良間	1	多良間	45	伊良部高校	1	伊良部
設置	設置数：46個						

成人の傷病者に対する救命手順（AEDがある場合）

用いるまでの間にやるべき事については応急処置

1. 救急車を呼び、AEDを用意する。各々の役割分担や状況判断を瞬時にできる人がリーダーとなり、指示が、機能されるのが望ましい。誰も来なければ、まず自分が救急隊を手配する。
2. 呼吸を10秒以内で確認（日常的に蘇生に携わる人は脈も確認）
3. 呼吸がなければ人工呼吸を2回
4. 胸骨圧迫（心臓マッサージ）と人工呼吸を30：2で行う。これをAEDが届くまで続ける。
5. AEDが届いたら電源を入れ、電極パッドを皮膚に直接貼り付け（AEDは意識がなく呼吸のない人のみに用いる除細動の適応でなければ放電されない。心室細動・心室頻拍の場合のみ、機器が自動で放電の準備をする）
6. 充電が完了したら安全を確認して除細動。
7. 機器の音声案内に従いすぐに心肺蘇生法を再開。
8. パッドは救急隊が到着するまで外してはいけない。電源を切ってもいけない（到着した救急隊がAEDが付いたまま患者を搬送するので、AEDには所有者の名と連絡先をあらかじめ明記しておくとい）